



MCI⁺プラス

スクリーニング検査

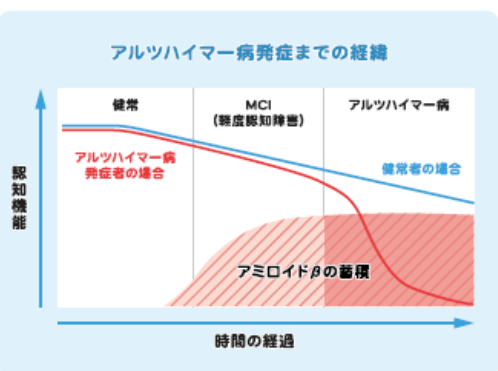
アルツハイマー病前段階の軽度認知障害リスクを**血液**で調べます

MCI（軽度認知障害）とは？

MCI（軽度認知障害）は健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階と考えられ、**認知症予備軍**といわれています。

そのまま放置してしまうと約5年でその半数が認知症に移行してしまうと言われていますが、この段階で適切な予防や治療を行うことによって、

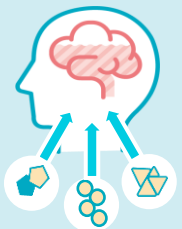
認知症発症を防ぐまたは遅らせることができることが最近の研究で明らかになっております。



プラスのヒミツ

より**早期**のリスクチェックが
より**高感度**で行えるようになりました

いままで



アミロイドベータ
・排除する
・毒性を弱める
3種のタンパク測定



アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドが蓄積されて、神経細胞がダメージを受けることで発症すると言われています。

従来検査ではこれらを排除する蛋白質を測定することでMCIのリスクを評価していました。

プラス



- ・ アミロイドベータ関連物質 **4種類**追加
- ・ 血管ダメージに関わる **2種類**の物質を追加

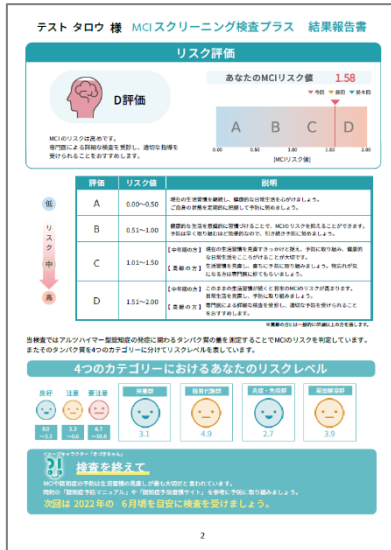
全部で **9種類**の物質を測定解析

新しくなった検査では従来の蛋白質に加えて、新しく4種類のアミロイドベータ関連物質を測定しております。また、最新の研究で**血管のダメージ**が認知症に関連していることがわかっておりましたので、新たに血管に関連する物質を測定し、解析に組み込んでおります。新しい解析手法により、従来の検査よりも高い感度でMCIのリスクを評価することが可能になりました。

早期にMCIリスクを調べて、認知症になる前の予防に取り組みましょう



報告レポートイメージ/認知症予防マニュアル



タンパク質の測定値をもとに統計的手法でMCIのリスクを評価します。判定結果はA～Dの4段階にて報告致します。

受検後には認知症予防のため別冊資料もご提供しております。



当検査はリスク検査のため、診断目的ではご利用できませんので、ご注意ください。

検査対象外の方

既に認知症と診断されている方は検査対象外となります。

検査結果の判定に影響を与える可能性のある疾患

下記①～④の疾患をお持ちの方は検査結果の判定に影響がある可能性があります。

- ①急性炎症が認められる方 ➔ 炎症・免疫群のたんぱく質に影響がある可能性があります。
- ②肝硬変の方 ➔ 炎症・免疫群のたんぱく質に影響がある可能性があります。
- ③先天性脂質異常症の方 ➔ 脂質代謝のたんぱく質に影響がある可能性があります。
- ④自己免疫性疾患をお持ちの方 ➔ 炎症・免疫群のたんぱく質に影響がある可能性があります。

※ 検査結果の判定に影響がある自己免疫性疾患は下記の通りです。
SLE, クリオグロブリン血症, 糸球体腎炎, 自己免疫性溶血性貧血, Behcet病, リウマチ熱, 関節リウマチ, 多発性結節性動脈周囲炎

※ 本検査は食事の影響を受けません。

MCIスクリーニング検査に関するお問い合わせ・ご質問

株式会社MCBI

MCIスクリーニング検査プラスのお問い合わせは下記まで

TEL : 03-6824-4034 (受付時間：月～金 9:00～17:00)

※人間ドック・健康診断の検査予約の電話番号は上記と異なりますので御注意ください。